

資料提供

令和6年4月11日

課名：平和推進プロジェクト・チーム

担当者：山本

内線：2365

直通電話：082-513-2368

## ロシアによる核実験実施の可能性についての報道を受けた 中止要請文の発出について

ロシア北極圏ノバヤゼムリヤ島の核実験場で、新たな核実験の準備が進んでいる可能性が高いとの報道を受けて、ロシア政府に対して核実験中止要請文を発出しました。

### 1 中止要請文

○ 送付物

ロシア連邦大統領宛中止要請文 一別紙1

○ 提出方法

在日ロシア連邦大使館特命全権大使を通じて送付

○ 参考

核実験等に対する本県の対応 一別紙2

## 要 請 文

貴国がノバヤゼムリヤ島での核実験の準備を進めている可能性が高いとの報道に接しました。

貴国が2022年2月24日にウクライナへの軍事侵攻を開始して以降、幾度も核兵器使用を示唆する発言をしていることに対して、私は強く非難し続けてきました。

貴国の一連の核恫喝によって、いくつかの国において、自国の安全保障上の懸念から、核抑止への依存を強めようとする動きがあることに、私は強い危機感を覚えています。

この非常に厳しい状況において、さらに貴国が核実験を行った場合、他の核兵器保有国に新たな核兵器開発の口実を与え、長年にわたって国際社会が積み上げてきた核軍縮の取組を大きく後退させることにつながりかねず、極めて遺憾です。

ここに、人類最初の原子爆弾による未曾有の惨禍を経験した広島県民を代表して、決して核実験を実施しないことを強く要請します。

2024年4月11日

ロシア連邦 大統領

ウラジミール・ウラジーミロヴィッチ・プーチン 閣下

日本国 広島県知事 湯崎 英彦

R 6. 4. 11 現在

核実験等に対する本県の対応  
(今回の中止要請を含む)

## ○過去の抗議状況(平成7年度～)

国名	抗議文	要請文	コメント
中国	3		3
仏国	2		4
露国	6	3	1
英国	2	2	1
米国	36	23	1
インド	2		
パキスタン	2	1	
北朝鮮	8		7
合計	61	29	17

## ※対応の主な内容

抗議文:核実験実施, NPT脱退宣言

要請文:核実験中止

コメント:核実験実施

## ○過去3年の対応

## 令和3(2021)年

3. 1. 17 米国の30回目の臨界前核実験(2. 11)の報に接し、在日米国大使館を通じて、知事名の抗議文を本国政府に送付

※在日米国大使館臨時代理大使より返書あり(3. 2. 3)2/8受領

## 令和4(2022)年

4. 4. 13 米国の31及び32回目の臨界前核実験(R3. 6. 22及び9. 16)の報に接し、在日米国大使館を通じて、知事名の抗議文を本国政府に送付

## 令和5(2023)年

なし